

令和3年度 神村学園専修学校

学校評価委員会 議事録

令和4年3月12日（土）

神村学園専修学校

1. 開会のあいさつ

(神村 慎二 校長)

お集まりいただきありがとうございます。

- ・学校の現在の状況（国家試験、卒業式実施の報告、国家試験の今年度の結果予測として、オンライン授業の影響があったのではないか？などの情報提供。多くの意見・助言をいただきたい旨お願い申し上げる。

(西山副校長)

- ・委員の皆様、本校職員の紹介を行う。

2. 委員会の趣旨・目的等について

(西山副校長)

- ・資料（文部科学省 学校評価ガイドライン（改訂））に沿って、委員会の趣旨・目的を説明する。

3. 報告事項

各学科より募集状況・国家試験合格者数・就職状況等を報告

(西山副校長) 自己点検・自己評価について報告。

- ・毎年、全職員に対し、自己点検・自己評価を実施し、提出を求めている。学校の教育目標に対する、職員の自己評価について1項目ずつ報告
- ・今年度は、オール3の評価となっている。
- ・昨年度と比較すると、2の項目が3となっている部分も多く、改善がみられているものと考えられる。

① 理学療法学科（中森）

- ・入学者数の報告。国家試験受験者数・合格者数の報告。
- ・就職先一覧の空欄については、国家試験不合格であったため、就職先として記載していない旨説明。
- ・今年度の空欄については、国家試験の合格発表後、就職活動を行うためである。

② 作業療法学科（黒木）

- ・昨年度国家試験不合格者の今年度の報告。本年度はおそらく大丈夫であろう。
- ・令和3年度就職先空欄については、国家試験の正式な発表をもって就職活動を実施するため、空欄となっている。

③ 看護学科（植屋）

- ・令和3年度入学者数の修正（→ 48名）。
- ・昨年度の国家試験合格・不合格者数の報告。現状分析をしっかりと実施し、最善を尽くしたい。
- ・就職先一覧の空欄については、他の学科同様正式な国家試験合格発表後、活動する。
- ・コロナ禍によるオンライン授業など、少なからず影響もあった。

④ こども学科（下木）

- ・就職については、卒業生全員が決まった。
- ・以前の卒業生と比較した場合、1年・2年で離職してしまう卒業生も散見される。

⑤ 日本語学科（大山）

- ・コロナ禍の中、入国できない待機学生がいる状態である。
- ・いちき串木野市との連携事業も実施した。

<質疑応答>

島谷委員：1年で離職する方々の原因・理由がわかったら教えてほしい。

下木学科長：職場の雰囲気（人間関係）もあるが、本人の能力的な部分もあるように思う。

山下委員：国家試験対策について。コロナの影響は多大なるものがあったと思う。今回、就職未定者の傾向として、どのような面があるか教えてほしい。

中森学科長：リモートでの国家試験対策になった理由として、当初濃厚接触者となった場合も、国家試験受験ができないとの通知があり、登校に関しては慎重にならざるをえなかったことが実情としてあった。

黒木学科長：リモートについては、ZOOMのブレイクアウトルームを活用するなど、様々な工夫を実施した。できる限り対面に近づけた取り組みを心掛けたが、さらなる工夫と対策が必要である。

就職先未定者は、基礎的な部分で学力に不安のある者が多い傾向であった。

4. 閉会のあいさつ

（松ケ野副校長）

委員の皆様の多くのご意見・ご助言をいただき、これからの学校運営・教育に活用できるお言葉をいただいた。

今後とも、専修学校へのご協力をよろしくお願い申し上げます。